

競技注意事項

1. 競技規則について

本競技会は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則、2024 WA COMPETITION AND TECHNICAL RULES(抗議)、競技会における広告および展示物に関する規程および本競技会の申し合わせ事項により実施する。

2. 競技場内で着用できる衣類と持ち込める物品について

「競技会における広告および展示物に関する規程」(国内)により、競技場内で着用できる衣類等に掲出できる製造会社名/ロゴ、スポンサー名/ロゴの大きさ、数については下記の通りであるので事前に確認しておくこと。違反している場合はテープ等でマスキングを行う。

●アスリートキット

(1) 競技用の衣類

競技用の衣類(トップス、ベスト、ショーツ・パンツ、レギンスなど)、ウォームアップ用の衣類、セレモニーキット(トラックスーツ、Tシャツ、スウェットシャツ、スウェットパンツ、レインジャケット)、および競技会参加時に競技者が着用するあらゆるその他のキットやアパレルなど。

○上衣 下衣 [それぞれ]

- ・製造会社名/ロゴ: 1つ 40cm²まで(最大高さ5cm・最大長さ10cm) ※場所は問わない
- ・スポンサー名/ロゴ: 2社 40cm²まで(最大高さ5cm・最大長さ10cm) ※上衣、下衣ともに全く同一の表示でなければならない
- ・学校名/ロゴ: 上衣 前後 各1つ(大きさは問わない)・下衣 1つ(大きさは問わない)

(2) 競技者が着用するその他のキットや衣類(靴下、ヘッドギア、帽子、ヘッドバンド、手袋、アームバンド、ウエストベルト等)

- ・製造会社名/ロゴ: 1つ 10cm²まで(高さ4cm)
 - ・学校名/ロゴ、都道府県名/ロゴ: 1つ 大きさを問わない
- ※ただし、メガネおよびサングラスについては2つ表示することができる。

●個人の所有物およびアクセサリー

(1) タオル 衣類バッグ、シューズバッグなど

- ・製造会社名/ロゴ: 1つ 40cm²まで(高さ5cm・長さ10cm)
 - ・スポンサー名/ロゴ: 2社 40cm²まで(高さ5cm・長さ10cm)
- ※ただし、競技者名/個人者ハッシュタグは1つまでとする。
- ※バッグについては、スポンサー名/ロゴのうち1つを以下に変更できる。

- ・学校名/ロゴ: 1個、大きさの規制なし

(2) 飲料ボトル

- ・アスリートスポンサー名/ロゴ: 2社 40cm²まで(高さ5cm) ペットボトルを持ち込む場合はラベルをはがすこと。

3. 練習について

別紙【練習に関する注意事項】を参照。

4. 参加校受付について

参加校受付は、以下の期日、時刻、場所で行う。

アスリートビブス・プログラム・IDカードを配付するので、代表者が一括で受け取ることとする。

期 日	受付時間	受付場所
9月19日(木)【大会1日目】	11時30分～閉門時刻	インフォメーション・センター
9月20日(金)～9月22日(日)【大会2日目～4日目】	開門時刻～閉門時刻	

※インフォメーション・センターは、Bゲート横に設置する。開門時刻・閉門時刻については【申し合わせ事項】1.を参照のこと。

5. 各種書類について

大会期間中の各種書類の配付および提出の窓口については、次のとおりとする。

書 類 名	配付場所・提出先
欠 場 届	TIC
重 複 出 場 届	
リレーオーダー用紙	
質問・抗議受付用紙	インフォメーション・センター
記録証明書	
第 4 位から第 8 位までの賞状 スポーツ安全保険事故報告書	

※TIC は招集所前に設置する。

6. 招集について

- (1) 招集所は、100m スタート側ゲートに設置する。
- (2) 種目別、組別の招集時刻は、プログラムの競技日程に記載のとおりとする。
- (3) 招集時刻に遅れた競技者は、その種目を欠場するものとみなす。
- (4) 招集時刻は招集所に設置されている時計に準ずる。
- (5) 招集の方法は、次のとおりとする。
 - ① 競技者は、**招集時刻までに招集所に集合し**、競技者係から腰ナンバー標識(トラック競技に出場する競技者のみ)および荷物運搬袋を受け取り、当該種目に出場する競技者本人が点呼を受け、以下のチェックを受けること。
 - ※棒高跳は現地招集とする。
 - ・アスリートビブスを付けたユニフォーム
 - ・競技靴およびスパイクピン
 - ・持ち込み衣類、持ち込み物品
 - ・所有物の商標のチェック
 その後、競技役員の指示に従い、競技実施場所へ移動する。
 - ② 競技規則 TR6. 3. 2 に記載の機器および通信機能を有する機器を招集所からミックスゾーンまでの競技場内に持ち込むことはできない。違反した場合は警告・失格の対象となる場合がある。ただし、フィールド種目に出場している競技者に対して、録画映像を提供する者のすぐ近く(コーチング エリア近辺)であれば、録画した機材(ビデオ装置・携帯電話等)を競技者自身が手に取り、操作して確認することが認められる。しかし、競技者自身が録画機材等を招集所から持ち込むこと、映像確認後に競技場所等へ録画機器を持ち込むことは禁止とし警告・失格の対象となる場合がある。
 - ③ 同時進行種目への出場競技者は、招集を受けられない種目の招集時刻までに、「重複出場届」に必要事項を記入し、TIC に提出する。「重複出場届」は、TIC で配付する。
 - ④ **リレーチームの編成については TR24. 10 [国際] を適用する。なお、「リレーオーダー用紙」の提出に関しては、TR24. 11 [国際] を適用する。リレー種目に出場するチームは、2 枚の「リレーオーダー用紙」に必要事項を記入し、各ラウンド(予選、決勝)の招集時刻までに TIC に 2 枚とも提出すること。「リレーオーダー用紙」は TIC に用意してある。「リレーオーダー用紙」の提出が遅れたチームは、その種目を欠場するものとみなす。**
- (6) 棒高跳の練習は競技実施場所で競技開始 90 分前から行うことができる。また招集は 60 分前から競技実施場所にて行う。

7. 欠場について

やむを得ず本競技会への出場を辞退する場合は、次の要領で「欠場届」を提出する。

- (1) 9 月 18 日(水)までは、本連合HP (<https://www.iuau.jp/>)に掲載してある「欠場届」に必要事項を記入し、FAX (03-5304-5569)で提出する。
- (2) 9 月 19 日(木)以降は、TIC に用意してある「欠場届」に必要事項を記入し、TIC に提出する。やむを得ず、TIC に提出できない場合は、FAX (03-5304-5569)で提出する。

8. アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、参加校受付の際に 1 名につき 2 枚配付する。
- (2) アスリートビブスは、そのままの大きさと胸と背に確実につける。ただし、跳躍競技に参加する競技者は、胸または背だけでもよい。
- (3) トラック競技に出場する競技者には、腰ナンバー標識(2 枚)を招集時に配付する。ただし、5000m・10000m・10000mW ではトランスポンダー付きの腰ナンバー標識を使用する。トランスポンダー付きの腰ナンバーは左腰に、通常の腰ナンバーは右腰につけること。
 なお、長距離種目や競歩種目で使用するトランスポンダー付きの腰ナンバー標識はレース終了後に回収する。
- (4) アスリートビブスの布地および数字の色は次のとおりとする。
 - ①男子 『ピンク地×黒数字』
 - ②女子 『黄色地×黒数字』
 - ③5000m、10000m、10000mW 『オレンジ地×黒数字』
 ※5000m、10000m および 10000mW で使用する特別アスリートビブスは、招集時刻の 1 時間前から TIC にて 1 名につき 2 枚配付する。
 その際、受付時に配付したアスリートビブスも持参すること。また、招集は特別アスリートビブスをつけた状態で行う。
 - ④十種競技および七種競技 『オレンジ地×黒数字』
 ※十種競技および七種競技では最終種目のみ特別アスリートビブスを配付するので、混成競技係より受け取る。

9. 用具について

- (1) 本競技会では、規定の厚さを超えるシューズは使用できない。WA のシューズリストを参照のこと。
 World Athletics LIST OF APPROVED ATHLETIC SHOES SHOE CHECKER
 (URL) <https://certcheck.worldathletics.org/FullList>
- (2) 棒高跳用のポールは、各自が持参したものを使用する。ポールの保管場所は正面玄関入り、左側の通路とする。
- (3) その他の競技に使用する用具は競技場備え付けのものを使用する。ただし、投てき競技で、個人所有の投てき物の使用を希望する場合、日本陸連検定品かつWA 認証品に限り(4)に従い検査を受け使用許可を受けることで使用を認める。
- (4) 個人所有の投てき物(一人 2 個まで)を使用する場合、**事前に申請書を記入**し以下に定める時間に検査を受けること。
 検査に合格した投てき物に、主催者の用意するシールを貼るので、競技終了まではがしてはならない。
 この場合、個人所有の投てき物については一時的に競技場備品としての扱いとなるので、他の競技者との共用になる。



9 月 20 日(金)		9 月 21 日(土)		9 月 22 日(日)	
女子砲丸投	7 時 55 分~8 時 25 分	男子混成円盤投・やり投	7 時 30 分~8 時 00 分	女子やり投・女子混成やり投	8 時 30 分~9 時 00 分
男子混成砲丸投	8 時 30 分~9 時 00 分	女子混成砲丸投	8 時 20 分~8 時 50 分	男子砲丸投	11 時 30 分~12 時 00 分
男子円盤投	10 時 10 分~10 時 40 分	男子ハンマー投	9 時 20 分~9 時 50 分		
女子ハンマー投	11 時 50 分~12 時 20 分	女子円盤投	12 時 55 分~13 時 25 分		
男子やり投	14 時 30 分~15 時 00 分				

(5) 検査場所および返却場所については以下の通りとする。

※個人所有の投てき物の返却は、競技終了後以下の場所で行うため、許可なく器具を持ち帰ることは禁止とする。

用具	検査場所および返却場所
砲丸、円盤、やりおよびハンマー	用器具庫(ホームストレートフィニッシュ側)



(6) 個人所有の用具の破損に関して、主催者側は一切の責任を負わない。

10. 競技について

(1) トラック競技について

- ① トラック競技における招集時刻後の練習は、すべて競技役員の指示に従う。
- ② 短距離種目およびリレー種目については、スタートインフォメーション・システムを使用して競技を行う。
- ③ 短距離種目では、衝突事故を防止するため、フィニッシュライン通過後も自分の割り当てられたレーンを走る。
- ④ 5000m、10000m および 10000mW は、気象状況によりスポンジの設置および給水を行う。給水は全て紙コップで行う。
なお、スポンジは身体にかける用途でのみ使用を可能とする。
- ⑤ 10000mW においては、競歩審判員主任による単独失格権限ルール (TR54. 4. 1) を適用する。
- ⑥ **10000mW においては、残り 1 週の時点で男子は 45 分、女子は 55 分を超えた場合、審判長の判断で競技を打ち切り、競技者は失格とする。**
- ⑦ 長距離種目において、競技中何らかのアクシデントで選手の競技を中止させたい場合、各チームの責任者は **070-2404-5542** (大会本部直通) へ連絡すること。

(2) フィールド競技について

- ① フィールド競技における招集時刻後の競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
- ② 棒高跳の競技場所での練習は、ゴム製バーを用いて行う。
- ③ 走高跳および棒高跳のバーの上げ方は原則として次のとおりとする。

種目・種別		練習	1	2	3	4	5	6	以降
走高跳	男子	2m00 2m10	2m05	2m10	2m15	2m18	2m21	2m24	+ 3 cm
	女子	1m60 1m70	1m65	1m70	1m73	1m76	1m79	1m81	+ 2 cm
棒高跳	男子	4m80 5m10 5m30	4m90	5m10	5m20	5m30	5m40	5m50	+ 5 cm
	女子	3m40 3m70 4m00	3m50	3m70	3m80	3m90	4m00	4m10	

- ④ 三段跳の踏切板の位置は、男子 13m、女子 11m とする。
- ⑤ 投てき競技の競技場内での練習は、1 回につき 60 秒以内とする。
- ⑥ 投てき競技の計測は、光波距離測定装置を使用する。ただし、砲丸投およびハンマー投の計測は鋼鉄製の巻尺を使用する。
- ⑦ ハンマー投の際のコーチングエリアにはチームスタッフ ID を所持している者のみ立ち入りを許可する。

(3) 混成競技について

- ① 招集は、各日最初の種目に限り招集所にて行う。それ以後の招集は行わないので、混成競技者は次の種目から混成競技控室にて待機し、競技役員の指示に従う。
- ② 混成競技における招集時刻後の競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
- ③ 混成競技控室を設ける、場所は諸室図を参照のこと。
なお、**該当種目の競技者および競技役員以外の混成競技控室への立ち入りは一切禁止とする。**
- ④ 跳躍種目は棒高跳を除き、2ピットで実施する。
- ⑤ 走高跳および棒高跳のバーの上げ方は原則として次のとおりとする。

種目・種別		練習	1	2	3	4	5	6	以降	
十種 競技	走高跳	低	1m60 1m75	1m65	1m68	1m71	1m74	1m77	1m80	+ 3 cm
		高	1m80 1m90	1m74	1m77	1m80	1m83	1m86	1m89	
棒高跳		3m40 3m80 4m20	3m40	3m50	3m60	3m70	3m80	3m90	+ 10 cm	
七種 競技	走高跳	低	1m35 1m45	1m40	1m43	1m46	1m49	1m52	1m55	+ 3 cm
		高	1m45 1m55	1m49	1m52	1m55	1m58	1m61	1m64	

- ⑥ 天候等の理由により、最初の高さの変更を希望する場合は審判長に申し出ること。

(4) 競技結果と番組編成について

- ①各種目の結果の正式発表は大型スクリーンにて行う。
- ②800mの番組編成に関しては、TR20.3.2〔国際〕を適用する。
- ③記録で次のラウンドに進む競技者の決定について、同記録の競技者がいる場合は、写真判定員主任が1/1000秒単位の時間を判定して決定する。それでも決定しない場合、当該の競技者または代理人による抽選とする。
- ④競技結果等は記録処理終了後、随時、本連合HPにて発表する。（大会プログラム表紙のQRコード参照）
PC用サイト <https://www.iuau.jp/> スマートフォン用サイト <https://www.iuau.jp/sp1/index.html>

(5) その他

競技規則を厳格適用し、CR18.5およびTR7.2の適用により警告を2回受けた競技者は失格となり除外処分対象となるので、この競技会における以後のすべての種目に出場できなくなる。

1.1. 抗議と上訴について

競技結果の正式発表時間は大型スクリーンに発表された時間を基準とする。競技の結果または競技進行中に起きた競技者の行為に関する抗議は、競技結果が大型スクリーンに発表されてから、競技規則に定められた時間内に、その競技者または代理人がTIC（招集所前）に申し出た後、担当総務員を通して審判長に対して口頭で抗議を行う。その時、該当審判長から説明を受け、裁定が提示される。さらに、この裁定に不服な場合は預託金（1万円）を添え、競技規則に定められた時間内に、その競技者または代理人が担当総務員を通してジュリーに文書で申し出る。なお、抗議については、TR8.4.1〔国際〕およびTR8.5〔国際〕を適用し、競技エリアで競技者本人から当該審判長が抗議を受け付け、裁定する場合がある。不正スタートおよびフィールド競技の判定に対して競技者自身が異議のある場合には、直ちに該当審判長に申し出ることができる。

1.2. ドーピング・コントロール・テストの実施について

- (1)本競技会は、ワールドアスレティクス(WA)アンチ・ドーピング規則および規程、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づく競技会(時)ドーピング検査対象大会である。競技会(時)検査は、大会前日23時59分から検査が終了するまでの期間であり、尿又は血液(あるいは両方)の採取が行われる。検査の対象に選ばれた該当者は、検査員の指示に従って検査を受けること(競技/運動終了から2時間の安静後に採血が行われることもあるので留意すること)。日本陸上競技連盟に登録していない外国人競技者も同様に従うこと。
- (2)競技会(時)検査の対象となった場合、原則として顔写真付きの身分証明書が必要となる。大会のIDカードやアスリートビズとともに、顔写真のついた学生証、運転免許証、マイナンバーカードまたは顔写真が鮮明なパスポートのコピー等を持参すること。
- (3)本競技会参加者は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程に従いドーピング検査の対象となることに同意したものとみなす。したがって、本競技会参加者はドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を「拒否又は回避した」「検査員の指示に従わない」「帰路の移動等個人的諸事情」によりドーピング検査手続を完了できなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- (4)本競技会参加者は、JADA クリーンスポーツ・アスリートサイト (<https://www.realchampion.jp>)等を利用して、アンチ・ドーピングについて事前に学習しなければならない。また本競技会においては、希望者が自由に参加可能な「アウトリーチ・プログラム」を実施し、アンチ・ドーピングについて学ぶことのできる機会を設けるので、ふるって参加されたい。

(5) TUE 申請

禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療使用特例(TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のHP (<http://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>) または日本アンチ・ドーピング機構のHP (<https://www.realchampion.jp/resources/000162.html>) および本連合HP (<http://www.iuau.jp/index.html/>)内の「知っておきたいアンチ・ドーピングの知識2024年版」を確認すること。禁止物質・禁止方法についてTUEが付与されている場合には、その証明書(コピーで可)をドーピング検査の際に担当検査員へ提出すること。

1.3. 対校得点について

- (1)対校得点は各種目、第1位が8点、第2位が7点、第3位が6点、第4位が5点、第5位が4点、第6位が3点、第7位が2点および第8位が1点とする。なお、同順位により、対校得点を割る場合には小数計算(小数点以下2桁まで)を行う。その計算は記録センターで行う。
- (2)対校得点が同点の場合、優勝種目数の多い方を上位とする。(優勝種目数が同数であれば、第2位入賞種目数の多い方を上位とする。以下同様。第8位入賞種目数まで同じ場合は、同順位とする。)

14. 表彰について

- (1) 総合・トラック・フィールド・混成の男女各部門において対校得点による順位が最上位であった大学には、閉会式にて賞典を授与する。
- (2) 男女各種目において第 1 位に入賞した競技者が最も多かった大学には、閉会式にて賞典を授与する。
- (3) 各種目の第 1 位から第 3 位までに入賞した競技者には、メダルと賞状を表彰式で授与する。競技終了後、速やかにエントランスホール内の表彰対象者待機場所に集合すること。
- (4) 10000m の表彰は、9 月 20 日(金) **14 時 50 分頃**(女子)、**14 時 55 分頃**(男子)より実施する。また、男子十種競技の表彰は 9 月 22 日(日) **11 時 00 分頃**より実施する。
- (5) 表彰式の際の服装については、待機場所で配付するプレゼンテーションビブスをつけた公式 T シャツあるいはジャージを着用し、下は公式ジャージを着用すること。
- (6) 第 4 位から第 8 位までに入賞した競技者には賞状を授与するので、インフォメーション・センターにて受け取ること。
- (7) 総合・トラック・フィールド・混成の男女各部門において対校得点による順位で第 1 位から第 8 位までに入賞した大学には賞状を授与するので、インフォメーション・センターにて受け取ること。
- (8) 各種目の第 1 位から第 3 位までに入賞した競技者には、表彰待機中にスポーツファーマシストによるアンチ・ドーピングアウトリーチを行う場合がある。該当者は積極的に参加をすること。

15. その他

- (1) ID コントロールを実施するので、配付した ID カードは常に携帯し、**大学名および氏名を必ず記載すること。**
- (2) スタートとフィニッシュの場所が異なるトラック競技では、招集所で配付された袋に入れられた衣類等をフィニッシュ地点付近まで競技役員が運搬する。
- (3) 競技終了後、必ずミックスゾーンを通過し、主催者が許可した報道関係者の取材を受けること。また、表彰式終了後もインタビューを受けることがあるので協力すること。
- (4) 大会期間中の貴重品の管理は各自で行うこと。盗難および紛失に関しては、一切の責任を負わない。なお、大会期間中に主催者に届けられた物品等については、一時的にインフォメーション・センターで保管する。預った忘れ物については、大会終了後 1 週間を目安に処分する。
- (5) **本競技場での競技運営に関する以外での芝生への立ち入りは一切禁止とする。**
- (6) 競技中に発生した傷害および疾病等についての応急処置は主催者において行うが、それ以後の責任は一切負わない。
ただし、2024 年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。必要な競技者はインフォメーション・センターにおいて、スポーツ安全保険の事故報告書を受け取ること。
- (7) 救急車等の緊急車両を手配する事態が起こった場合、一刻を争う事態でない限り大会本部および競技場側の許可なく手配しないこと。
手配を希望する場合、大会本部が車両の手配を行うので、その際は、詳細を含めインフォメーション・センターに連絡すること。
- (8) Zevenheuvelenloop 15km ロードレース (オランダ) の代表選手選考に関しては、本連合 HP 掲載の選考要項を参照のこと。
- (9) その他、不明な点に関して大会中は下記の通りに問い合わせること。
 - ・ 競技に関する質問や抗議 TIC (招集所前)
 - ・ 大会に関する質問 インフォメーション・センター (B ゲート階段横)